

中央検査部のご紹介

中央検査部長 福武勝幸（臨床検査医学講座 主任教授）

中央検査部では血液や尿などの成分を分析する検査、病原性微生物の検査、そして心電図、脳波、心臓超音波検査などの生理機能検査を行っています。日本の病院では今から50年ほど前まで、各診療科ごとに手仕事で検査を行っていました。東京医科大学病院では1951年に日本の大学病院としては初めて米国式の中央検査システムを導入しました。その後、全国で臨床検査の分業化が進んだ結果、臨床検査医、検査技師という専門職が誕生し、今では近代的な精密機器を使った正確な臨床検査が行われるようになりました。



中央検査部は、臨床検査専門医の部長、副部長と技師長を中心とした検査技師により運営されています。外来検査の採血受付時間は午前8時から午後5時までですが、救急外来や入院患者様の検査は24時間無休体制で行っています。

正確な検査を行うために、内部精度管理を毎日行ない、さらに、日本医師会、日本臨床衛生検査技師会、総合懇診学会、米国病理学会などの外部精度管理に参加して、国内国外を通じて信頼して

いただける検査を提供しています。

中央検査部では患者様のご要望にそえるよう、職員の教育や設備の改善に取り組んでいます。朝の採血と検査の迅速化により、基本的な検査は当日の外来で結果をご説明できるよう準備を進めています。現在は外来受診時に次回の検査を予約して、午前の外来は午前9時までに、午後の外来は午前11時までに採血していただきますと、外来診療時間までに当日の結果をご報告しています。将来はいつでも1時間以内にご報告することを目標にしています。当日、ご報告できるのは一般的な検査項目に限られますので、ご希望の患者様は外来担当医とご相談ください。中央検査部では採血の待ち時間なく、快適に採血をお受けいただくための採血室の改良、万一の地震災害発生時に備えて、水がなくても検査が出来る設備の導入などを予定し、患者様がさらに安心して診療をお受けいただけるよう努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

